

## 三河のつぶやき

先日外来に、漁師をやっている方がいらっしゃいました。鴨川海溝(長狭街道の通っているところをまっすぐ海へ行くところらしい)の縁の、1000mくらいのところを狙っているんだよ、キンメより深いところだよ、黒潮がこういう風に流れていて…先生には細かくいってもわからないだろうけど…。など大変興味深い話をしていただきましたし、診察室や病院がホームグラウンドの医者は、きっと視野が狭いと思われているだろうと感じました。今度鴨川市のサポートしている事業と関連がある「サロン」に見学に行かせていただく予定です。住民の皆さんがあつまり、運動したり、会話したりしていると、病院を出て、住民の方と直接話しができる機会です。楽しんできたいと思います。



地域医療連携室 室長 三河 貴裕

## マイ'ム 節約 - Eco

東日本大震災から、より節約に関心を持つ様になった方も多いと思うが、私のその一人です。

**Eco1-**電気のコンセントは節電タップを使って待機電力をカットして、コンセントを抜く手間を省く。

**Eco2-**エアコンは、立ち上げ時に電力をくうので温度調整して付けっぱなしにする。**Eco3-**掃除機は、物を片付けてから一気にかける。

**Eco4-**おなべは底の広いものを使用して熱の通りを早くする。**Eco5-**ごはんは、沢山炊いて1食づつにラップし惣菜は小分けにして冷凍して、レンジで温めるだけで時間も節約。

**Eco6-**食器用洗剤は、2倍～3倍に薄めて効果は変わらず手にもやさしい、etc.

我慢しないで「ムダ」と「損」をなくすだけ、苦痛だったりケチしている感覚ではなく、地球にやさしく節約を楽しめて、心が豊かになります。

ご褒美にデザート戴いちゃいます。

いい子

## TOPICS 開催予定の勉強会のご案内 TOPICS

### 「子宮頸がんセミナー」

#### 1. 知っておきたい子宮頸がんとその予防

6/21(金) 18:00～19:30

亀田総合病院 K13ホライゾンホール

対象: 医療関係者のみ

#### 2. 大切なあなたへ～子宮頸がんになって～

6/22(土) 13:30～15:00

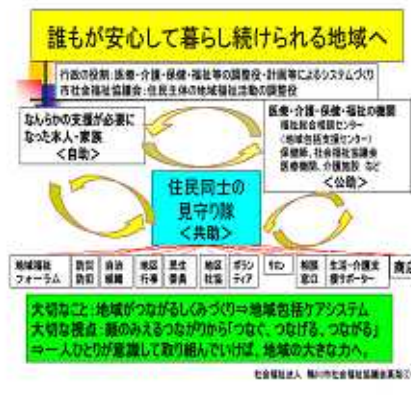
亀田医療大学 学生会館4階ミズキホール

対象: 小・中・高校・看護学生含む一般・医療関係者

千葉県内で開催されるELNEC-Jコアカリキュラムの案内

亀田はH26/2/22(土)-23(日)です。

詳細についてはポスターをご参照ください。



## 「共助」に重点を置いた健康福祉の推進



鴨川市ふれあいセンター 健康推進課 牛村 隆一 課長

鴨川市ふれあいセンターの牛村です。今回から3回の連載で、行政で取り組んでいる地域連携、地域づくりについて、ご紹介をさせていただきます。近年は、少子高齢化、核家族化の中、個人を重視する傾向にありますが、その一方で、人と人とのつながり、家庭や地域の連帯感が薄れてきています。

これは、日本の大きな社会問題とも言えますが、この安房地域、鴨川市においてもこの問題に対し、どのように対応していくかが大きな課題であると捉えています。私のいる職場は、健康福祉を一体的に捉え、横断的に乳幼児から高齢者への行政支援を行っているセクションですが、健康福祉施策を展開していくうえでもこの課題は避けては通れないものと理解しています。こうした状況を踏まえ、これからの行政の役割は、国や県の方針による制度支援はもとより、地域の自主性、自立性を高めるため、責任を持って、市民の皆さんや地域とともに助け合い、支え合う関係を築く「共助」に重点を置いて、新たな地域づくりに取り組むことが重要であると考えています。

その取り組みの一つとして、厚生労働省の地域福祉推進市町村として取り組む「安心生活創造事業」を通じ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを鴨川市社会福祉協議会と進めています。医療や介護、福祉支援が必要になったとしても、安心して生活できる基盤支援の構築は欠かせません。このためにも、第一には支援が必要な人とそのニーズを把握、そして漏れなくカバーされる体制づくり、地域連携は、今最も優先すべきものとして取り組んでいます。

\*\*\*上の図をご参照ください:「誰もが安心して暮らし続けられる地域へ」

## 「この地だからこそその地域連携を皆様と共に」 看護部病棟師長・システム担当・地域医療連携室 杉田登子

地域医療連携室の杉田です。地域医療連携室としては2年目を迎えました。総合診療・感染症科を主科とする病棟の師長も担当させて頂いています。いわゆる一般内科ですが総診は地域との関わりも多い診療科でもあります。がん拠点病院として「がん地域連携パス」を運用させる目的で「がん地域連携室」がスタートし、「パス」つながりで「地域連携」に関わらせて頂くことになり、とりあえず、訪問してお話ししなければ始まりませんからと、三河先生とお話を伺いに訪問を開始させて頂きました。

訪問先の先生方から、「パスを運用させる前に、やらなくてはならないことがたくさんあるのではないですか?」と、実際にそのようにお話しされたわけではありませんが、パスという道具を使う前に、同じ道具を使って運用するための関係性からスタートする必要がありますがありました。また、訪問を開始して、解っているつもりでしたが、自分自身本当に施設の中からの視点でしかなかったことを痛感致しましたし学ばせて頂きました。訪問で学ばせて頂いたおかげで、全国規模でいえば、既に地域連携を確立し漸進的に取り組まれている地域の実践紹介はされております。どんなに素晴らしいことでも、この地で出来なければ意味が無く、逆にこの地だからこそ出来る地域を支える仕組み創りがあると考えられるようになりました。のんびりもさせてもらえない速さで国の政策は動き現実を突きつけられますが、一つの現象から関係者同士の線の関係が出来、その線が面になり、そしてみんなで支え合えるような地域創りができたら素晴らしいと想います。訪問活動や勉強会などの活動を通して、皆様に教授頂きながら少しずつ微力ではありますが、頑張りますのでこれからもどうぞよろしくお願い致します。